

テストチームを見守る

田中 一夫
アイエックス・ナレッジ(株)
Kazoo.tanaka@ikic.co.jp

要旨

SS2009 での田中のポジション・ペーパーです

1. 自己紹介

今年、54 歳になりました。SS には何回目だろう？東京で開催された頃にも行ってるから、10 数回だろうな。最近では、地方での開催が多いんだけど会場費が安いから地方開催になるよね。今年は、100 年に一度の経済危機って事で参加者が少ないのは残念ですね。おっと、内情を暴露しちゃいましたが、ここ数年は SEA の代表幹事をやってるんで事情通です。

始めに入った会社は、今は亡き山一証券です。98 年 2 月まで在籍し、システム運用・システム開発・標準化等を経験しました。勿論、証券会社の 2 次オンライン、3 次オンラインも担当しました。おっと、忘れちゃいけないのがリバース・ツールの共同開発なんてのもやりましたね。T-CARE って商品名で、現在の開発環境展(当時は、CASE Japan?)にも出展しました。

現在は、IKI で品質管理部に属しています。

2. 最近の想い

仕事上では、直接テストに接してはいません。入社した際(3年前)に、同じ事業部内で顧客受入テストをしている若者中心のチームがあり、上司から「ちょっと面倒も見てよ」って言われたのが縁で、彼等・彼女等とは計画レビューや振り返り会(勿論、飲み会も)で接しており、可愛い存在です。

入社した当時は、彼等・彼女等は自分達のプロセスも明確に描けていなかったが、最近は JaSST で発表までできるようになりました？

現在、悩んでいるのが、ドメイン知識の効率的な習得方法です。彼等・彼女等が担っているのは「顧客受入テスト」ですから、最終段階のテストであり、ビジネス知識

(業務知識・ドメイン知識)を知っていなければ、テストシナリオも作成できません。機能追加・変更箇所なら保守での要件定義書で把握可能ですが、既知のビジネス知識は判りません。

3. 討論したい内容

1. ビジネス知識を修得できるのか？
 - ー既存のシステムドキュメントが無い場合、どのようにして修得できるか
 - ー顧客業務を実施しないで、修得する方法
2. 技術者のモチベーション維持方法
 - ー開発者や保守者のモチベーションを維持する方策
 - ーメンヘルじゃないチームでのモチベーション向上策

4. WS への貢献と期待

うーん、何に貢献できるかな？
多少の知識と経験かな

参考文献